

平成26年度ユニバーサルデザイン（UD）教育の取組

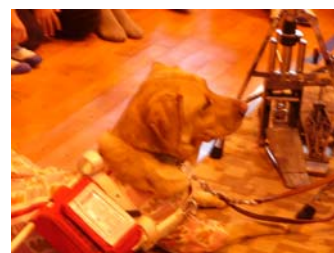
1	学校名	唐津市立納所小学校			
2	所在地	唐津市肥前町納所丁682番地			
3	校長名	太田 公治			
4	学級数	6学級	5	実施学年	5年
	児童生徒数	99人		児童生徒数	21人

6 取組のねらい

- 地域に住んでいる視覚障がいの方や盲導犬について知り、自分たちが
できる活動を考える。
- ふれあい活動を通してわかったことや心に残ったことを相手にわかる
ように表現する。

7 取組の実際[5年1組・・・11月6日（木）実施]（2時間）

- (1) 盲導犬のDVD視聴、盲導犬の活動、視覚障がいの方の
ドラム演奏鑑賞



唐津市社会福祉協議会のスタッフさん2名と視覚障がいの方1名に来校してもらい、盲導犬についてのDVDを視聴し、実際に盲導犬が障害物を避けながら道案内をする様子を見学した。最後に、障がいのある方の思いや願いを聞き、ドラム演奏を視聴させてもらった。

- (2) 盲導犬について調べた新聞作り

盲導犬の起源や盲導犬になるまでの過程、接し方、公共の場や製品など視覚障がいの方が使いやすい工夫をされている場所や商品などについて調べ新聞にまとめた。



◎盲導犬体験をしての感想

盲導犬のヤックルとAさんが来られました。Aさんは目が不自由な方で、ヤックルが目になっていました。日本には約1000頭の盲導犬がいて、全国で盲導犬を必要とされている方が7800人もいらっしゃるそうです。

盲導犬はまず、基礎訓練で「ほめて教える」ことで仲良くなっていきます。「座れ」「伏せ」「待て」「来い」「左につけ」などと言う訓練もします。他にも横幅を考えて通ったり障害物を避けたりする訓練は街の中で訓練するそうです。人ごみや匂いなどに反応しないことも訓練するそうです。

Aさんはドラムで3曲も演奏して下さいました。どれもすごかったです。私は、盲導犬や目の不自由な方を見つけたら信号や階段のところなどを教えてあげたいと思います。

◎盲導犬体験をしての感想

Aさんが盲導犬の話をしてくださいました。ぼくたちが住んでいる唐津市には、盲導犬が1頭しかいないと聞いて驚きました。Aさんが飼っている盲導犬はヤックルといいます。誘導訓練ではヤックルはAさんのことをいろいろ考えて障害物を避けて歩いていたので賢い犬だなあと感心しました。Aさんがドラムで3曲演奏してくださいました。手さばきがとても速いのに上手に演奏されたのですごいいいと思いました。盲導犬は食事の時間が決まっています。わけは、信頼関係を保つためです。全国には7800人もの方が盲導犬を必要とされていると聞いて驚きました。どこかで盲導犬をみかけたら助けてあげたいと思いました。とても勉強になりました。

◎盲導犬体験をしての感想

盲導犬が学校にやって来ました。名前はヤックル君でした。ヤックル君は、盲導犬になるために2年間も訓練して目が見えない人のために基礎訓練や共同訓練をしているなんてすごいなあと思いました。それに、盲導犬はご主人が指示をしないと動かないし、周りの音を聞いて目が見えない人を安全に歩かせるためにいろいろな経験をしていることを知りました。ヤックル君はAさんを事故に遭わせないようにAさんが指示をする方向にきちんと行っていたのですごかったです。

Aさんの演奏されるドラムの音はかなり大きかったのにヤックル君はそれを怖がらずにとてもおとなしく聞いていました。盲導犬のパートナーになるには盲導犬と仲良しにならないといけないことを初めて知りました。盲導犬を連れている人がいたら声をかけたり何かしたいです。

◎盲導犬体験をしての感想

盲導犬体験で、Aさんが来てくれました。唐津で盲導犬が1頭しかいないことを知りました。名前はヤックルというそうです。盲導犬の仕事は、飼い主さんの行きたい所へ連れて行くことです。仕事時の盲導犬はハーネスをつけているので、仕事をしていることがわかるそうです。仕事時は盲導犬に話しかけない方がいいことを教えてもらいました。

Aさんがハーネスをはずして遠くから呼んだら、ヤックルはどうするか見せてくださいました。嫌がらずに、頭をちゃんとハーネスの中に入れたのですごかったです。とてもかしこいなあと思いました。

Aさんのドラム演奏もすごかったです。目が見えないのに驚きました。目の不自由な方に会ったらやさしく声をかけたいです。

8 取組の成果と課題

(成果) 盲導犬との触れ合いを通して、視覚障がいのある方に対して何か自分にできることはないだろうかと考えることができた。また、公共施設や生活用品などでも工夫されているものがあり、学校や地域の中にあるUDに関心を持つようになった。

(課題) 身近にUDに関する物は少なく、実際に使ったり考えたりする機会もあまりない。実践的な活動などにつなげていく手立ての工夫が必要である。